



第163号

2023 年 11 月 30 日

北海道旭川聾学校寄宿舎 発行

食欲の 11 月

舎監

初雪が降り、暦の上では立冬を過ぎもう冬かという時期になりました。食欲の秋と言うには遅い時期になってしまいましたが、11 月といえば学校では「給食月間」に入り学校給食のメニューを人気投票して決めるリクエスト給食やバイキング給食が実施されました。寄宿舎でも来月クリスマス会でバイキング形式の食事を予定しています。個人的に毎日学校給食を楽しみにしているので、寄宿舎の食事はどんなものか栄養士さんにいろいろと聞いてみました。学校給食で出ていないが、寄宿舎の食事のみで出されるメニューには、ささみカツ、サイコロステーキ、かきあげ丼などがあるそうで、興味津々です。寄宿舎の食事は基本的に朝と夜提供されるので、朝はなるべく短時間で食べやすく必要な栄養を取れるもの、夕食は栄養価が高くボリュームのあるものということが意識されています。学校給食を含め3食で栄養のバランスやメニューが考えられているため、揚げ物や麺の日が重ならないようにしています。週1回以上は魚の献立にする、材料に大豆を入れて植物性蛋白質を摂取できるようにするなどの配慮がされています。なるべく和食中心で考えられているようで、将来の健康につながることを考えて塩分と脂質を取り過ぎないように工夫されています。学校行事の朝食には、消化の良いものを出したり、誕生日など行事の時のメニューは楽しく食べることを重視して考えたりするなどの配慮がされています。

寄宿舎の食事の調理員さんは朝2人で調理にあたります。6時くらいに出勤し、7時半に提供できるように、夜は午後3時に来て午後5時

には準備が終わるようにされているそうです。

子どもたちにとっては、苦手なものもあると思いますが、学校給食を含め、朝昼晩バラエティに富んだ献立で美味しく楽しく食べてほしいと思います。また、食材を生産している人たちや運搬に関わる人、献立を考える人や調理する人など、毎日給食のために様々な人が関わっていることを意識して、提供されるものに感謝の気持ちをもってもりもり食べてほしいと思いました。

保護者の皆様におかれましては、改修工事に関わり暖房のこと等御協力いただき、感謝しています。引き続き御支援と御協力をどうぞよろしくお願い致します。

10月誕生会

10月18日(水)Eさんの誕生会が行われました。今回の係担当はGさんとAさんでした。

「思い出に残る誕生会にしたい。」「Eさんの大好きなバスケの画像を装飾して、嬉しい楽しい誕生会にしたい。」というコンセプトで準備が進められました。

誕生会前日に係2名で装飾をしました。Eさんの大好きなバスケットプレイヤーの画像掲示をし、似顔絵やEさんに向けてのメッセージなどを書きあげました。

当日は予定どおりに会が進行し、今年度卒業を迎える誕生者のEさんからの一言は、後輩たち一人ひとりに向けた心温まるメッセージが伝えられました。

会食のメニューはEさんリクエストの「唐揚げ」「サイコロステーキ」「フライドポテト」

「フレンチサラダ」「みかん」といった内容の人気メニューで、みんな美味しそうに食べていました。そして、デザートに待っていた物は…。今までのケーキが業者の都合により、今回からアイスやプリン等のデザート、おやつ等になりました。みんなとても喜んで食べていました。

会食を終えると、もう一つみんなが楽しみにしていたゲームの時間です。体育館へ行き、「ドンジャンケン」(⇒平均台を両端から渡り歩き、出合いがしらにジャンケン勝負！勝ったら前進できて、相手陣地にたどり着いたチームが勝ち！という内容)のゲームでした。係の G さんからルール説明が行われ、指導員も一緒にエキサイトしながら楽しみました。このゲームを企画した G さんは、「みんなが楽しめるように！」「負けた人が悔しい思いをしないために！」との発案で、参加者全員へ手作りメダルの贈呈がありました。みんなニッコリほっりの誕生会となりました。



最近の舎室の紹介

「師走の1室」

12月も差し迫る今日この頃。冬の訪れを感じる季節になりました。1室の2人は心身ともに元気に過ごしています。寄宿舎生活においては、行事や係活動でも自分の色を出して主体的に臨む姿が見られています。Aさんは、係活動においては自分の出身地の掲示を行いました。みんなに「見てもらうため」「知ってもらうため」に私見を交えたおすすめ情報を加えたりするなど、周りを意識して係活動に臨んでい

ます。Bさんも同様に、お風呂掃除係では自分で課題を見つけて、それを目標に設定して活動に臨む姿が見られます。同じ係の舎生に対しても、「(掃除方法)こうしたら良いんじゃない？」とアドバイスするなど、協力しながら取り組む姿が見られます。

余暇時間においても2人は家庭ゲーム機や玩具とともに遊ぶ様子が見られ、ときには喧嘩をするときもあるけれど、自分の思い・相手の思いを「伝え合い」「受け取り」合いながら仲良く過ごしています。今年度も残り少なくなってきましたが、年度終わりには「同じ舎室で良かったよ、ありがとう」と、2人共笑顔で言い合えたら良いなと思います。



「2室のプリンセス」

2室のプリンセスが2人に増えて2か月が経ちました。

2人で遊ぶことが楽しくて、ほぼ一緒に過ごしています。絵を描いたり、テレビゲームをしたり、指導員をプリキュアの怪物に見立てて悪をやっつけるなど、静から動の遊びにいつの間にか変わっていき、興味関心も流動的です。でも、それぞれが別の遊びをしたいときには、それも尊重して良い距離感を保っている2人です。

ここ最近は、季節の変わり目ということもあってか体調を崩すことがあり、2人が揃わずすれ違い、寂しい思いをすることがありました。そんなとき、あの手この手を使ってプリンセスのご機嫌をとってくれるのが、4人のお兄ちゃんたちです。話し掛けてくれたり、一緒に遊ん

でくれたりして寂しさを紛らわせてくれていました。

いろいろな人に接し、人間関係を学び、少しずつ成長しているお姫様たちです。

今後に期待大です。



「3室」

本校寄宿舎での生活も残すところ半年を切った中3のEさんは、学業や部活、学校行事など、いつも全力投球！進学に向けて様々な情報を集めながら、未来に向かって一步一步進んでいます。苦手な朝に早起きをして学習していることもあり素晴らしいです！また、後輩たちからとても慕われ、そして、頼りにもされています。最近は、“今、自分がこの寄宿舎でできること”を考え、後輩たちに残したいメッセージを伝えている場面が多く見られるようになりました。

入舎して2年が過ぎ、寄宿舎の生活に慣れてきた小4のFさんは、人との関わり方に少しずつ変化が見られるようになってきました。

“どうやったら自分に関心をもってもらえるか？”を考え、一方的に話し掛けるのではなく、一度自分で考えて間を置いてから行動する場面が増えてきています。コミュニケーションをとっている相手の顔を最後まで見ることや、相手が他の人とコミュニケーションをとっているときに待つことなどを勉強中で少しずつ成長が見られます。



「7室のある日の出来事」

相変わらず人見知りのGさんですが、今年度は色々な人との関わりを深めることをテーマにしています。特に、年下の友達との交流を増やすという課題をクリアするために、全舎遊びのリーダーとして企画立案や進行役として、小さい子にも分かりやすいルール説明や話し方の工夫など毎月苦心して取り組んでいます。「こんな感じで大丈夫ですか？」と指導員に問いかける表情で緊張していることが分かります。

単発的な関わりだけではなく、日常的に垣根なく話ができるようになるために…。食堂のテーブルで席が一緒の小学部4年生の男の子がある日「遊ぼう！」と声を掛けてくれました。いつもは降りてこない1階プレールームで楽しそうに遊ぶ姿が見られました。目線を下げて、柔らかい表情でペースを合わせて遊んでくれました。30分ほどでしたが、その子はとても喜んでいました。

寄宿舎には女子が3人だけで、Gさん以外は幼稚部生です。今度は女子会をすべく、2室の幼稚部生との交流に努めましょうね！



お知らせ

〈学生ボランティア来舎についてのお知らせ〉

12月から隔週で日曜日と月曜日に旭川教育大学の学生さんが寄宿舎に来てくれます。

短い時間ですが、お兄さん、お姉さんとお話しをしたり、遊んだりして楽しく過ごしたいと思っています。